



二学期始業式

32日間にわたる夏休み（登校日5日間も含む）も終わり、2学期が始まりました。久しぶりに会う子どもたちの姿はとても遅しくなった気がします。

始業式では、樋川校長先生より「好きをふやそう」という話がありました。苦手なことに挑戦したり、新しいことにチャレンジしたりすることで、自分の好きなことを増やしていこうと全校児童に伝えていただきました。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、2学期は1年で1番長い学期で数多くの行事があり、好きなことが増やせることと思います。それぞれがたくさんの「好き」を探してほしいと思います。



新しいALTの先生です



ベンジャミン先生とお別れをしてから1か月半。9月からは新しくアンダーソン先生がALTとなりました。日本には30年に以上住んでいるということで、日本語も堪能です。現在は甲府市に住まわれています。丹波小には週3回、月・水・金曜日に来てくれます。早速5・6年生では外国語科、3・4年生では外国語活動、1・2年生はイングリッシュタイムで、アンダーソン先生に英語を楽しく教えてもらっています。ALT経験も豊富な気さくな先生です。どうぞ、よろしくお願ひします。

牛乳パック・ペットボトルキャップの



回収について

丹波小学校児童会では、助け合い運動のボランティア活動として「牛乳パック」と「ペットボトルキャップ」を集めています。「牛乳パック」は、飲み終わったパックを水で洗い、ひらいて集めています。年度の終わりにリサイクル業者さんに持っていき、トイレットペーパーに交換してもらいます。ペーパーはデイサービスに例年とどけています。また、「キャップ」についても洗って、業者さんにとどけることで、ワクチンなどの関係費に利用してもらいます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響からか、あまり集まっていません。地域の方々にもぜひ協力していただければと思います。1年を通して回収を行っております。いつでも、学校に持ってきていただければ、ありがたいです。地域の方々の御協力をお願いいたします。



丹波小中運動会



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が不安視されていましたが、9月13日（日）に、丹波小学校の校庭で行われました。子どもたちはこの日のために、毎日一生懸命練習を重ねてきました。当日は、児童・生徒のきびきびとした態度や競技・演技に全力を傾ける姿勢は、みている観客のみなさんにすがすがしい印象を与えてくれました。小学生と中学生が力を合わせ、保護者や地域の方と一体となって行われる運動会は、とても和やかで温かな雰囲気でした。また、保育所のかわいらしい園児も小さな体を精一杯大きく使って競技・演技をがんばってくれました。丹波山村で育つ子どもたちは、多くの方に生まれ健全に成長していることが再認識できました。当日は多くの保護者・地域の方に御参加いただき、また力強い応援をいただきありがとうございました。今後とも温かく児童・生徒を見守り下さい。今後ともよろしくお願いたします。



転入生 西川 武蔵（むさし）さんです。

9月から2年生に新しいお友だちが入りました。東京都江戸川区より丹波山村に来ました。好きな食べ物は、「全部」だそうです。よろしくお願いたします。

1年生3名、2年生2名、3年生2名、4年生2名、5年生1名、6年生1名で全校で11名になりました。

